

発見

北摂版

探検

中学生のための

2026年度版

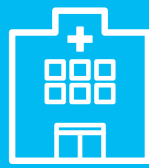
お仕事ブック

〔地元企業の魅力を発信〕



タブレットやスマホのカメラで
QRコードを読み込んでみよう!





医療

おおさか い か やっ か だいがくびょういん
大阪医科薬科大学病院

高槻市大学町 2-7

TEL.072-683-1221 <https://hospital.ompu.ac.jp>

創業 / 1930年(昭和5年) 従業員数 / 約3,300名(2026年1月現在)




ホームページを
見てみよう!

? 大学病院って どんなところなの?

**「診療」「研究」「教育」という
3つの役割を担う病院です**

病院は、病気やケガをした人を治療する場所。その中でも大学病院は、一般の病院では難しい、特別な治療を行う役割を持っています。そんな一番進んだ医療を支えているのが、研究。そして、知識や技術を次の世代に伝えていくのが教育です。こうした3つの役割すべてが、新しい治療の開発にも活かされているのです。



? どんな人たちが 活躍しているの?

**さまざまなプロフェッショナルが、
病気と戦う患者さんを支えています!**



医師
さまざまな検査方法を使って体の異常を見つけ高度な医療で患者さんの命を救う、チーム医療の中心的な役割です。



看護師
医師の指示のもと、患者さんの体調を常にチェックし、患者さんが安心して治療を受けられるようサポートします。



リハビリテーション専門職(理学療法士ほか)
患者さんに体を動かす、頭を使う練習をしてもらい、日常生活で「できること」を増やすお手伝いをします。



臨床工学技士
人工呼吸器やペースメーカーといった、生命維持を助ける医療機器の操作や点検をします。



薬剤師
お薬を提供するだけでなく、お薬の飲み合わせや、食事とお薬の相性などをチェックすることも重要な業務です。



管理栄養士
栄養面(食事など)で治療をサポートする仕事です。また、病気にあった食事管理の方法も指導します。

? 大学病院は、一般の病院とどこが違うの? 「診療」「研究」「教育」の三位一体で、健康な未来を支えています!

医療の現場で生まれた疑問や課題を解決するために、最新の医療を研究し、その成果を次の世代に伝えるために教育します。こうして育った医療スタッフが、その知識を現場に活かす——そんなつながりのあるチームで、高度な医療に取り組んでいます。




診療
一般の病院では対応できない難しい病気に対し、専門性の高い医師たちが、高度な検査機器や最新の手術で治療にあたります。

研究
病気の原因や予防方法を研究したり、新しい治療法や薬を開発したりし、一人でも多くの患者さんの健康を支えます。

教育
これから現場で活躍できる医療従事者に育てるため、研究で得た知識の伝授に加え、現場研修で教育します。


point! **関西 BNCT 共同医療センター**

BNCTとは、ホウ素中性子捕捉療法といって、次世代のがんの治療法のひとつです。『関西 BNCT 共同医療センター』は、大阪医科薬科大学に附属した機関で、教育研究機関としては世界初のBNCT臨床施設なんだ。世界で初めての医療施設が、みんなの地域にあるなんて、すごいね!



point! **最新医療素材の開発**

常に難しい手術に挑んでいる医師たちは「こんなものがあれば患者さんの負担が減るのに」と考えています。そんな現場の声を活かして、新しい素材を開発しているんだ。例えば、小さな子どもの心臓手術には、その臓器の小ささだけでなく、成長にあわせた伸展性のある素材などが活躍しているよ。



働く人の声を聞いてみよう! Q&A

[1日のスケジュール]

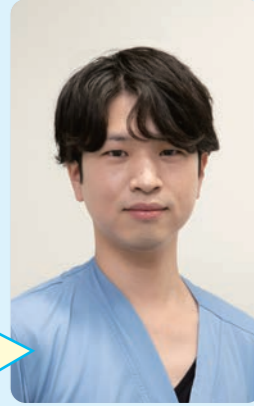
- 8:00/出勤
入院患者さんの情報を確認し、どんな患者さんがいるのかを把握します。病棟に向かい、患者さんの機器をチェックします。
- 12:00/ランチ
持参したお弁当を控室でいただきます!
- 13:00/病棟巡回
心筋梗塞や不整脈治療の補助、ペースメーカーの患者さんのチェックなどを行います。
- 15:30/カンファレンス
患者さん全員の情報を共有します。
- 16:20/退勤

Q.このお仕事を選んだきっかけは?

高校の友人から「この仕事をめざす!」と聞いて初めてこの仕事の存在を知りました。高校では、電気や機械について学んでいたため、医療機器を操作したりメンテナンスする臨床工学士なら、工学の知識を活かせると思いました。また医療機器を通じて、生命を助けたり守ったりできる仕事である点も、魅力に感じました。

Q.大切にしていることは?

生命維持管理装置という、患者さんの命を預かる機械を操作するので、ミスは許されません。なので、自分の持っている知識と技術をすべてつぎ込む決意でやっています。こうして自分が携わった患者さんが元気に過ごしてくれている姿を見ると、本当にやりがいを感じます!



臨床工学技士
なかがわ ひろゆき
中川 裕希さん